

活動報告

団体名	公益社団法人シャンティ国際ボランティア会
活動名	平成30年7月豪雨災害の被災者のための緊急救援事業
活動期間	2018年7月～2018年9月
活動の成果	<p>主な活動拠点になった愛媛県西予市野村町は、短期間の大雨によるダム放流で川が氾濫。中心街のほとんどが被害を受けた地域であった。物資配布では、地域間格差・時間的ギャップ・ニーズとアイテムの不一致、供給量の不足といった課題は日を追うごとに解消された。路上カフェでは、継続的に続けて行く事が望まれたが連日の猛暑もありボランティアで参加されている地元の方々の事も考え2日間の活動となった。避難所でのサロン運営は、毎回想像以上の参加数で巡回していた保健師や警察の方々もサロン活動をやっている時は声がかげやすいと感謝された。子ども達の保養プログラムでは実施後、保護者の方々から「被災後家の片づけ等で忙しく、夏休みなのにどこにも連れて行けなかったので大変嬉しかった」とお声掛け頂いた。仮設住宅団地集会所・談話室備品整備支援では、過去の事例を基に行政の方々とお話しを進めて行った。その結果避難所から続く傾聴サロン活動を迅速に仮設集会所・談話室でも開始する事が出来た。</p> <p>今回、活動を行う中で「地元の団体と協働する」という事を心掛けた。その結果、仮設住宅団地集会所でのサロン活動など中長期で必要とされる活動は、当会が引きあげた現在でも地元団体に続けて頂けるまでになった。サロンに来る被災者からは「普段なかなか話す事の出来ない僧侶の方々と話せて嬉しい」とお声掛け頂いた。また、仮設団地でのサロン活動などを通して仮設団地に住む被災者同士の顔の見える関係の構築にも繋がった。被災後、起こる喪失感などの目には見えない「心の被害」を少しでも減らす一助にはなったのではないかと思う。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>全国の皆様から頂いた温かいご寄付から助成金を頂き、誠にありがとうございます。</p> <p>昨今、災害が頻発しており一つの被災地支援が終わらない間に次の災害が発生する現状でございます。</p> <p>当会としては被災者に寄り添う活動を中心に、これからも被災地支援活動を続けて参りたいと思います。</p> <p>今後とも変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。</p>

(活動のようす)

